

香りの小道改修

平井健一郎・在岡孝行・下前敏信

当園東部稜線に位置する「香りの小道」植栽区域内の通路設定、植栽改修について報告する。

区域はライラック、ヒイラギ、ジンチョウゲ等が植栽されているが、植え込み内に通路がなく踏圧による生長阻害が間々見られた。その一方で、ログハウス周辺の植栽変更に伴いドイツズランが、ボタン・シャクヤク園の植栽変更に伴いシャクヤクがそれぞれ掘り上げ・撤去となった。この機会を利用し、踏圧による土壌条件悪化の回避を図る目的で、ドイツズラン及びシャクヤクを当区域に移植・植栽した。草丈の高くなるシャクヤクを通路から見て植栽区の奥（東側）に、草丈の低いドイツズランを手前（西側）に植え付けた（図）。

出芽するまで踏み荒らされる恐れがあることから、竹による植栽箇所に柵を設置し、よりはっきりとした観察路を設けた（写真）。



写真 竹柵の設置
(平成16年12月21日撮影)

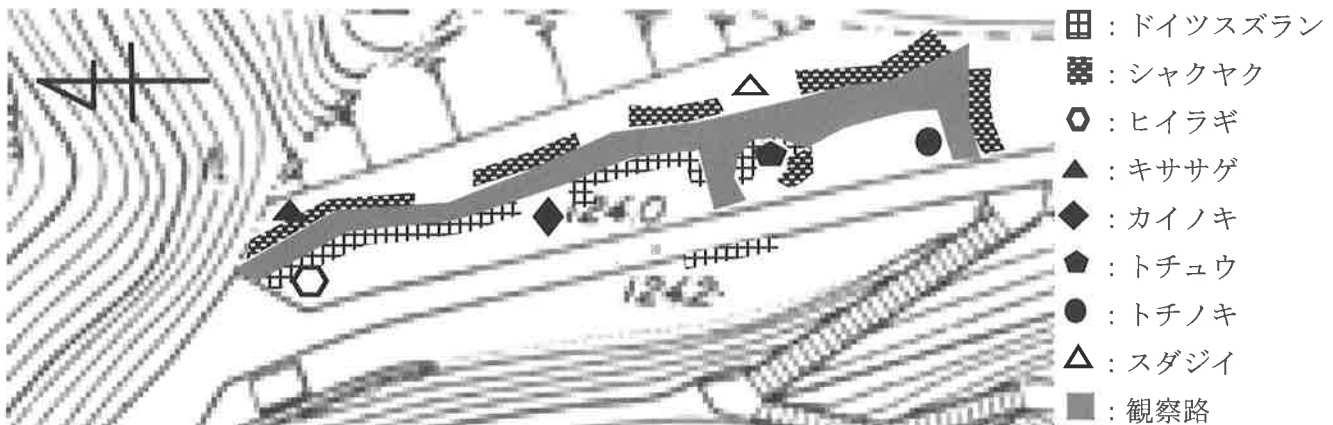


図. ドイツズラン及びシャクヤク植栽による香りの小道植栽改修